

坪井川遊水地公園環境整備支援活動（第2回）

令和4年7月16日（土）午前8:30から熊本市北区高平地区（2級河川坪井川遊水地内）で行われた、高平台校区坪井川遊水地の会主催の坪井川遊水地公園環境整備支援活動に10名（うち会員7名）参加しました。

本活動は、熊本市を流れる坪井川の遊水地内（元水田）にある公園の景観整備に取り組んでいる地元自治会活動を支援するものです。なお、主催者である坪井川遊水地の会（会長・中野正一氏）は、多年にわたる坪井川遊水地花公園における環境美化活動が認められ、今年6月に熊本県から第31回くまもと環境賞の「地域貢献賞」を受賞されました。

今回は、中野氏所有の山から掘り起こした花木（モミジ、ロウバイ、しだれ桜等）を遊水地の東側蓮池周辺に移植する作業で、当日は未明まで降り続いた雨もあがり、蒸し暑い中での作業となりました。まず、移植する複数の花木を手分けして地中で複雑に絡んだ木の根っこを格闘しながら掘り起こしを行いました。その後、軽トラで移植先近くまで運搬し、人力小運搬後、事前に掘削した穴に植樹を行い、午前中までに何とか作業を終了することができました。

この日は、途中で差入れられたスポーツドリンクが、体の隅々にまで染み渡りこんなにもおいしいのかと思えるほどの作業環境で、明日以降の筋肉痛が心配です。

移植した花木が、今後、公園を訪れる人々の目を楽しませるまでに成長することを願いたいと思います。

昨年度に整備した蓮池の前で（古代ハスが見頃） 掘り起こし作業と掘り起こした花木



植樹作業



植樹後のモミジ（左）としだれ桜

